

東京都市大

理工系をめざす女子受験生へ 理工系学科卒の女性を調査

東京都市大女性研究者支援室では、同大学理工系学科の女性卒業生を対象としたアンケート調査を実施。その結果を「卒業後の活躍レポート」として、10月中旬に公表した。

同大学理工系学部を卒業した女性2,233人(住所判明分)を対象とし、「理工系進路の選択理由、卒業後の進路、現在の状況など」を中心に、4月に郵送でアンケートを実施。525人(回答率23.5%)から回答を得た。回答者は、20代から40代が90%を占め、77%が就業中。

女性研究者支援室長の小川順子准教授は、「科学技術分野で活躍する女性の著名人、例えば宇宙飛行士などは誰もが注目し、目に見える存在ですが、普通の高校生や女子大生がちょっと頑張れば真似ができる身近なロールモデル(模範)は、具体的に形に見えるのか」疑問がありました。特に、私たちにとって一番近い存在であるはずの卒業生がどういう人生を送っているのかもわかっていませんでした。その反省に立って、今回の調査により実態を探ってみることにしました」という。同レポートの詳細は女性研究者支援室のHPで。

<http://www.sofers.tcu.ac.jp/>

旺文社『蛭雪時代2012年1月号』